

月刊紙



Olive Factory

OLIVE ニュース 3月号2015

4月の予定 2日：避難訓練 3日：工賃支給・皆勤賞 10日：理事会、評議員会（由仁町町長来訪）

黙禱



平成二十三年三月十一日

あの日、事業所では利用者の帰宅準備の最中でした。南側の芝生に避難し強風に雪が混じる中、毛布をかぶり何度も繰り返し返す揺れに声を掛け合いながら耐えていた利用者や職員たちの事を思い出します。

あの日、犠牲になった方や被災された方を忘れないよう、今の平穏な日々感謝をこめて全員で黙とうを捧げました。

震災から四年、福島の復興は着々と進んでいるようですが災害の恐怖は日本列島からは消えたわけではありません。大切な命を守るためにもあの日のことを忘れないようにしましょう。



職員、利用者共、万感胸に黙禱をささげました。

個別面談を終えて

※面談の中でお話ししましたが、現在事業所の改装・新規事業準備等により工賃が低下している中、ご理解をいただき事業所を利用いただき感謝いたします。利用者・保護者・職員、全てを含めて成り立つ事業所ですので、これからも面談等で意見を交換し就労であっても仕事に拘らず、楽しく事業所に通えるように取り組みます。

（就労継続B型サービス管理責任者・坂井達雄）

※平成27年度上半期の個別支援計画において3月初旬から面談を実施して参りました。保護者の皆様にはお忙しい中お時間を頂き、有難うございました。従来行ってきた軽作業を縮小し、余暇支援中心の活動となります。今回の面談と相談支援事業所からの指示をふまえ支援を実施して参ります。今後とも、よろしくお願い致します。（生活介護サービス管理責任者・坂本潤）

内郷公民館祭り

三月七、八日に内郷公民館

祭りに職員の有志で参加し、お弁当やお総菜の販売を行いました。このお祭りには例年公民館よりお声かけいただき実現しております。両日とも即日完売した上、お祭りを企画した実行委員の方々が「阿列布のお弁当を食べたい！」と予約をしていただく人気ぶりでした。



利益の 52,600 円は利用者工賃となります

もう一つの作業所 open

好間町鬼越の事業内容変更にともない、公益財団法人福島県総合社会福祉基金の助成を受けせっけん作業所の一部を調理場として改修致しました。今後は惣菜調理などに利用し就労の仕事の一つとして活用してまいります。



共生型福祉施設事業について

好間町鬼越で行う事業は福島県の補助金交付の決定を受け入札を行い、理事会・評議員会の承認をえて施工会社と契約いたしました。これでいよいよ建築がはじまります。障がいを持つ方のケア、老人介護の機能を併せ持つ市内では例のない施設が誕生します。



【完成予想図】

寄付、物品寄贈の皆様

金田静子様 栗原淳子様 吉田京子様 小松谷純子様 吉田ハルエ様 エムキャリア様 (株)不二代建設様 (株)テンミール IWAKI様 (株)タカムラ様 ありがとうございます。